



◆金沢を知る

講座番号 ③-11

時 間：午後2時～3時30分

場 所：築地社会教育会館

回 数：3回

受講料：900円

主 題 平成22年度から開講しているこの連携講座も、「金沢を知る」と題し3年目を迎え、これまでにさまざまな金沢を発信してきました。

今年度は、新幹線の開業から3年目となる今、金沢のイメージが従前からどう変化したかについて、訪問者のSNSなどを素材にした分析に始まり、古代北加賀（後の金沢市域にあたる）

地域においてどのような社会が形成されていたか、諸豪族の活動や統治のあり方を考えます。また最終回には、雨が多く水災害に見舞われてきた石川県ならではの、龍蛇や怪鳥＝水の神をめぐる歴史と伝承についての考察をお届けします。

金沢のまさに「今」を知り、「古代・中世」の金沢についての興味・関心を深めることで、金沢の「新たな魅力」発見へとつなげます。

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	11/25（土）	金沢のイメージと、その変容	伊藤 悟
第2回	12/ 2（土）	古代の北加賀を考える	吉永 匡史
第3回	12/ 9（土）	ラグーンに棲む異類と水災の記憶	黒田 智

講師紹介

伊藤 悟（いとう さとる）

金沢大学人間社会研究域教授。地域創造学類地域プランニングコース担当。理学博士。筑波大学第一学群自然科学類卒業、同大学院博士課程地球科学研究科修了。専門は地理学。

吉永 匡史（よしなが まさふみ）

金沢大学人間社会研究域准教授。人文学類歴史文化学コース担当。博士（文学）。九州大学文学部史学科卒業、東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻修了。専門は日本古代史。

黒田 智（くろだ さとし）

金沢大学人間社会研究域教授。学校教育学類教科教育学コース担当。博士（文学）。早稲田大学第一文学部史学科卒業、同大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。専門は日本中近世史。



鼓門（金沢駅）写真提供：金沢市